

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 浜田 晋介

研究課題		長野県大深山遺跡の保存に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	長野県川上村に所在する国指定史跡大深山遺跡は、縄文時代中期の集落である。この遺跡は調査から50年以上経ち、川上村教育委員会と共同で、遺跡の保存状況を把握することと、今後の保存対策のデータを収集する目的で、2018年度から調査を行っている。今年度は発掘調査の最終年であり、保存方法を探るデータを収集することとなる。
	研究の結果	大深山遺跡の今年度の調査によって、次のことが判明した。 これまで未調査区域となっていた、指定範囲の南側に遺構の存在の有無を確認するためのトレンチを設定した。その結果、2軒の縄文時代中期の住居跡と1基の土壙を検出し、特に住居からは3個体の復原可能な土器が出土した。これによってこれまで確認されていた縄文時代中期前半～中葉にかけての住居が、本年のトレンチの範囲まで広がっていることが確認され、大深山遺跡が典型的な環状集落であることが判明した。
	研究の考察・反省	大深山遺跡の史跡保存に関する現地の調査は、本年度をもって一旦は終了する。来年度はこれまでの調査成果を生かして、今後の史跡整備の在り方を検討することとなる。現状ではこれまでの薄い土壌被覆による方法も、一定程度有効であることが確認されており、川上村・長野県教育委員会・文化庁との協議にこの成果を説明していく。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究成果物 『長野県川上村大深山遺跡発掘調査概要』川上村教育委員会 2019年3月31日</p>	